

家庭学習のてびき 5,6年



このてびきは、家庭で保護者が子どもと一緒に学習するためのヒントを紹介しています。子どもたちの学習習慣を育てるために家族の声かけで学習意欲が高まるようにご協力をお願いします。

1 音読（声を出して読みましょう）

- 今勉強しているところを、声を出して読みましょう。
- 練習したら、おうちの人に聞いてもらいましょう。
- 読んだら、教科書や音読カードに読んだしるしを付けましょう。
- まだ勉強していないところも読んでいいです。

2 漢字の練習

- 今までに勉強した漢字を漢字ドリルの手本を見ながら、「とめ・はね・はらい」に注意して、ていねいに練習しましょう。
- 漢字一つだけ書くのではなく、「じゅく語」や「短文」で書きましょう。
例：「単」という字なら「単語」「簡単」のようにじゅく語で書いたり「単語で覚える」のように短文で書いたりしましょう。

3 語意調べ

- 国語辞典を使って、意味の分からない言葉を調べましょう。
（調べる前に意味を予想してみるといいですよ。当たるかな？）

4 日記・テーマ作文

- 心に残った出来事に題名を付けて漢字50字以上使って書きましょう。
- ニュースや身の回りの事柄から自分でテーマを決め、意見文を400字～800字で書きましょう。（目にまとまった新聞記事を切り抜いておくとよい）

5 短作文

- 意味調べをした熟語を使って一文を作る。

6 算数の問題

- その日に勉強した問題を、家でも練習しましょう。
- 教科書の問題はノートを見て、ドリルは後ろにある答えを見て丸をつけましょう。
まちがえたら、「どうしてまちがえたのか」を考えて、やりなおしましょう。
- 新しく学ぶ単位や算数で使う言葉などを正しくおぼえましょう。



7 自主勉強ノート

- 勉強に関係のあることや“おもしろそうだな”と思ったことを本や新聞やインターネットやテレビなどで調べて自主勉強ノートに書いてみましょう。



